

北海道こども発達研究センター樽川 自己評価集計結果

公表：令和5年3月1日

事業所名：北海道こども発達研究センター

回収率：100%

	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
①	利用定員は活動スペースとの関係において適切ですか	8		1	・利用児童が多くなる場合は活動室を分けてスペースを確保している。	利用人数に合わせて、適時活動室を2つに分ける等の工夫を継続する。
②	職員の配置数は適切ですか	8	1		・やや少ないと感じる。	適時新規職員向けに見学対応等を行っている。
③	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮は適切ですか	9				
④	業務改善を進めるための目標設定と振り返り（PDCA サイクル）に広く職員が参画していますか	9				
⑤	保護者等向け評価表を活用することにより、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげていますか	8		1		今回、初回評価として実施。
⑥	この自己評価の結果を、ホームページなどで公開していますか	9				
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていますか	7		2		外部機関と連携し適時フィードバックを頂いている。
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保していますか	9			・幅広く知見を得られ助かっている。	

⑨	評価を適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、支援計画を作成していますか	8		1	<ul style="list-style-type: none"> • とても良くやっていると思う。 • 稀に職員の偏った考えや評価を耳にすることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 職員間で利用児童の課題の捉え方に差が出ないように課題時の様子や保護者からの連絡を日々の振り返りで共有している。
⑩	こどもの適応行動の状況を図るために標準化された評価表を使用していますか	9				
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っていますか	9			<ul style="list-style-type: none"> • セラピストと指導員共に同じ方向を向いていて素晴らしい。 	
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫していますか	9			<ul style="list-style-type: none"> • セラピストと指導員共に同じ方向を向いていて素晴らしい。 	
⑬	平日・祝日・長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援していますか	9			<ul style="list-style-type: none"> • セラピストと指導員共に同じ方向を向いていて素晴らしい。 	
⑭	こどもの状況に応じて個別訓練と集団活動を適宜組み合わせで支援計画を作成していますか	9			<ul style="list-style-type: none"> • セラピストと指導員共に同じ方向を向いていて素晴らしい。 • 集団活動にもっと力を入れていきたい。 	
⑮	支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認していますか	8	1		<ul style="list-style-type: none"> • 支援前の役割分担はギリギリ個人でしているように感じる。 	本計画書作成時には、全体で情報共有と意見交換を行っている。
⑯	支援終了後には、職員間で打ち合わせを行い、その日行われた支援を振り返り気づいた点などを共有していますか	9			<ul style="list-style-type: none"> • 毎回、活動後の振り返りと特記事項の記録を行っている。 	
⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげていますか	9				
⑱	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性について判断をしていますか	9				
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っていますか	9				

⑳	サービス担当者会議にそのこどもの状況に精通した職員が参画していますか	9				・コロナ禍のため事業所開所から直接的な参加は無いが、メール等で相談室と情報共有を行っている。
㉑	学校との情報共有を適切におこなっていますか	9				・適時、小学校と情報共有を行っている。
㉒	就学前に利用していた各機関との間で情報共有と相互理解に努めていますか	9				・適時、関係機関と情報共有を行っている。
㉓	学校卒業後、支援内容等の情報を関係機関に提供していますか	9				・適宜、関係機関と情報共有を行っている。
㉔	児童発達支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けていますか	9				
㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がありますか	9			・利用児の通う園で行われたイベントに参加する機会がある。	
㉖	自立支援協議会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加していますか	9				
㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っていますか	9				
㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っていますか	9				・相談援助業務をより積極的に行いたいと考えている。
㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っていますか	9				
㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っていますか	9				
㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援していますか	4		5		・コロナ禍により実施が難しかったが、今後企画や実際の支援について検討したい。

③②	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応していますか	9				送迎時等に、適時各ご家庭と情報共有を行っている。
③③	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信していますか	8		1	・HPで発信している。	
③④	個人情報の取扱いに十分注意していますか	9				
③⑤	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていますか	9				
③⑥	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っていますか	5	2	2		・コロナ禍のため積極的な招待は難しいと思われるが、現在も行っている広告配布などの活動から事業所の取り組みを知ってもらう機会を維持したい。
③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施していますか	9			感染対策マニュアルに沿った対応を適時行っている。	
③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っていますか	9			年2回の避難訓練を実施している。	
③⑨	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認していますか	9			適時、ご家庭や関係機関と情報共有を行っている。また、必要に応じて簡易マニュアルの作成を行っている。	
④⑩	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされていますか	8		1	・現状では該当する児童の在籍がない。	該当児が見られた際には、関係医療機関と情報共有を実施する。

④1	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有していますか	9			IA レポートにて情報を共有している。
④2	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか	8		1	委員会にて、年1回の研修を含め、適時対応をしている。
④3	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載していますか	7		2	<ul style="list-style-type: none"> 委員会にて適時情報共有を行っている。現状では、直接的な対応を必要とする児童の在籍がない。

特定非営利活動法人 北海道こども発達研究センター